

コンピュータベースFLCテスト受験当日の注意点

受験料の支払いが完了し、キャッスル社のウェブサイト上で受験日の予約完了後に、試験の日時、会場などが記載されている確認メールが届きます。

そのメールを全てプリントアウトして試験会場に持参して下さい。

コンピュータベースFLCテストの操作方法を確認したい場合には、キャッスル社のWebsite上で模擬試験を受ける事が出来ます。

→[ここをクリック view this free sample test](#) 注意: この模擬試験の内容は、AICIのFLCテストの内容とは全く別のものです。

キャッスル社からの予約受付完了を知らせるメールは、プリントアウトして、必ずご自身で保管して下さい。このプリントアウトした書類は、試験当日に試験官に提示しますが、返却希望の場合には試験開始前に試験官に伝えて下さい。受験の際には以下の事を守って下さい。

◆ 受験の際には以下の事を守って下さい

• このCONFIRMATION NOTICE を試験官に提出してください。
• 顔写真入り身分証明書(運転免許証、パスポートなど)を持参すること。不携帯の場合には受験が認められません。
• 氏名は身分証明書と同一であること。
• ビジネスネームなどは不可。
• ミドルネームがある場合も、このメールに表記された氏名と身分証明書の氏名が一致していること。
• ローマ字名にハイフンが入っている場合にも同様に、身分証明書の記載と同じ表記であること。氏名の変更があっても、あらかじめキャッスル社に変更届を出していない場合には、テストセンターでの変更受付はできません。
• 時間厳守すること。

◆ 一般的注意事項:

• テスト会場は禁煙。
• テスト会場は飲食禁止。
• 本、ノート、紙類、全ての電子機器(携帯電話、カメラなど)、バッグ、コートなどは試験を受ける部屋内への持ち込みは禁止であり、各自の責任において部屋の外に置くこと。
• 試験官がメモ用の紙と鉛筆などを用意する。これらのものは試験会場から持ち出すことができない。また自分自身のメモ用紙などを持ち込むことはできない。
• 友人や子供、家族などを試験会場に同行することはできない。
• 音に敏感な場合には耳栓の持ち込みができる。その場合には、スタッフに耳栓を見せて確認を取ること。
• コンピュータベースのテストを行う試験会場では、複数の試験が開催されている可能性がある。同じ試験会場内で、別の組織主催の試験が同時に行われている場合がある。この場合、他の受験者と試験のルールや試験時間などに違いがあることを理解しておくこと。
• コンピュータベースのテストはインターネットに接続されて行われている。インターネットの接続が不可になった場合には、その時点で直ぐに試験官に伝えること。試験の時間は、接続が不可になった時点での残り時間が接続可能になった時点で、その後継続される。
• 持ち込み禁止品目: 受験者は以下の品目を試験会場に持ち込むことを禁止する。
• カメラ、携帯電話、光学式読み取り機器、その他の撮影機能・コピー機能等のある電子機器。
• ノート、本、辞書、電子辞書
• バック類
• 財布、ハンドバック類
• iPod、mp3 プレイヤー、ヘッドフォン、ポケットベル
• 計算機(試験提供者が認めた場合以外)、コンピュータ、PDA、その他メモリー機能のある電子機器
• 個人の筆記用具(鉛筆、ペンなど)
• 腕時計
• 食物、飲み物
• 帽子、フード、他のヘッドギアなど、またコートやジャケット類も不可。
• ポケットのついていないセーターやスウェットシャツは認められる。

上記の品目を試験会場に持ち込んだことを試験官が見つけた場合、それらの電子機器のメモリーの内容を調べることができる。もし、試験官が試験の内容が記録されていることを確認した場合、キャッスル社はその記録を消す権利がある。全ての記録を確認した後にその電子機器を持ち主に返却する。ただしその消去する記録が、試験の内容以外の記録だったとしてもキャッスル社は、責任を負わない。これらの品目の持ち込みは規則違反であり、持ち込まれた場合のメモリーの消去の際に機器に損傷があっても責任を負わない。

◆ 緊急時の対応

事故や家族の死去などの緊急時の対応は、キャッスル社に直接電話連絡をすること。

1アメリカ + 1(919) 572-6880

東京チャプター連絡先: TEL 03-4590-1231 / Mail: info@aicitokyo.com

(ただし、緊急連絡は本人の責任でキャッスル社に行くことが基本。東京チャプターはあくまでもサポートであることをご理解下さい。)

◆ 環境への対応:

会場の室温は予測できない場合があるので、各自が温度調整可能な服装でテストに臨むことを勧める。

音が気になりそうな場合には耳栓の持ち込みが可能であるが、スタッフに提示すること。